

フローインジェクション分析研究懇談会規約

(名称)

1. 本研究懇談会は、社団法人日本分析化学会フローインジェクション分析研究懇談会と称する。

(目的)

2. 本研究懇談会は、フローインジェクション分析法に関する学術と応用技術の進歩、普及をはかることを目的とする。

(事業)

3. 本研究懇談会は、前項の目的を達成するため次の事業を行う。
 - 1) 講演会等の開催 (年2回以上)
 - 2) 会誌の発行 (年2回)
 - 3) その他本会の目的を達成するための事業

(運営)

4. 本研究懇談会には委員長と委員若干名からなる運営委員会を置き、本会の企画及び運営を行う。
5. 3条2項の事業(会誌の発行)を円滑に行うために、会誌編集委員会を置く。編集委員会の運営規約は別に定める。
6. 3条3項に係る事業を展開するために、必要に応じ分科会を置く。分科会の設置は運営委員会において承認する。
7. 本研究懇談会の事業は、本部補助金及び会費並びに寄付金などにより行う。

(会員並びに会費)

8. 本研究懇談会の会員は、個人会員及び団体会員(特別賛助会員及び賛助会員)とし、原則として日本分析化学会の会員とする。
 - 1) 会費 個人会員(一般) 年額 3,000円
個人会員(学生) 年額 2,000円
 - 2) 会費 団体会員 特別賛助会員 年額 1口 10,000円, 1口以上
賛助会員 年額 7,000円

(表彰)

9. 本研究懇談会は、フローインジェクション分析に関し功績のあった者及び本研究懇談会に対し特に功労のあった者を、運営委員会の承認を得て、これを表彰することができる。表彰規定は別に定める。

- 付則
1. この規約は1990年4月1日より施行し、その改正は運営委員会において行う。
 2. 1997年12月一部改定と追加。

フローインジェクション分析研究懇談会表彰規定

第1条 フローインジェクション分析研究懇談会（以下本会）に、FIA学術賞、FIA技術開発賞、FIA進歩賞、FIA論文賞を設け、本会の会員に贈呈する。

- 1) 学術賞は、フローインジェクション分析（以下FIA）に関する研究が独創的、先導的であり、FIAの進歩と発展に著しく貢献した研究者に贈呈する。
- 2) 技術開発賞は、FIAのシステム、装置、反応系等FIAの技術的進歩と発展に著しく貢献した個人またはグループに贈呈する。
- 3) 進歩賞は、FIAに関する研究が独創的であり、将来を期待される研究者で、受賞の年の4月1日で満40歳以下の研究者に贈呈する。
- 4) 論文賞は、FIAに関する独創的、先導的研究論文あるいは技術的進歩を促す論文に対して、その著者に贈呈する。対象とする論文誌は、「Journal of Flow Injection Analysis」とするが、褒賞委員会の合意により、他誌掲載の論文を対象とすることができる。

第2条 各賞の受賞件数は2件以内とする。ただし、褒賞委員会の合意により変更することができる。

第3条 各賞は賞状と賞牌とし、本会定例講演会において贈呈する。

第4条 本会委員長は、会員に各賞候補者の推薦を7月末日までに依頼する（自薦も可）。推薦に際して、次の書類を提出する。

- 1) 推薦書（A4判用紙1枚）
- 2) 推薦理由書（A4判用紙を縦（1行40字x40行）に使用し、本文及び文献（主要論文）を合わせ3枚以内で作成する。
- 3) 説明資料 特に重要な論文の別刷、その他審査の参考となる資料

第5条 会員は9月末日までに、候補者の了解を得て、候補者を推薦することができる。

第6条 本会委員長は褒賞委員会を設ける。

第7条 褒賞委員会は11月末日までに受賞候補者を決定し、本会委員長に報告する。

付則1. この規定は、1998年3月1日より施行し、その改定は本研究懇談会運営委員会において行う。

第9回フローインジェクション分析国際会議(ICFIA 98)のお知らせ

ICFIA 98: The Ninth International Conference on Flow Injection Analysis (ICFIA98) will be held in Seattle, Washington (USA) on August 23 - 27, 1998. Full details and updates throughout the year are available on our website, <http://www.flowinjection.com/icfia.html>. Share in the latest developments in FIA research and applications. Enjoy the interactive environment of leading scientists exchanging their results and theories. The three-and-a-half-day conference will highlight:

Process Chemistry	Industrial Applications
Biotechnology	Environmental Monitoring
Sequential Injection Analysis	Instrument Design
Automation	Miniaturization
New Methods	Atomic Spectroscopy
Electrochemistry	

CONFERENCE LOCATION: Doubletree Guest Suites Seattle, Washington

Contact the hotel directly to make reservations: FAX 206-575-4743 Telephone 206-575-8220

Mention ICFIA for the special conference room rate: Single or double room - \$129

Complimentary transportation provided by the hotel from Sea-Tac International Airport

DEADLINES:

Registration: Before May 1, 1998 - \$275, May 2 to August 1 - \$300, After August 1 - \$325

Registration - Students: Until August 1 - \$120, After August 1 - \$145

Submission of papers: Titles - June 1, 1998 (sooner makes our life easier), Abstracts - July 1, 1998

INDICATION OF INTEREST:

I'm not interested. Please remove me from your list. _____

I'm not sure, but please keep me informed: _____

I plan to attend ICFIA 98: _____

I plan to present a paper (oral): _____

I plan to present a poster (visual): _____

Contact me about vendor participation: _____

Send ICFIA 98 information to my colleague _____ at (email or postal address) _____.

Name: _____

Company: _____

Address: _____

City: _____

State/Country: _____

ZIP/Postal Code: _____

email: _____

FAX: _____

JAFIA 事務局からのお知らせ

- ◇ 本研究懇談会では、FIA学術賞、FIA技術開発賞、FIA進歩賞、FIA論文賞を設け、本会の会員に贈呈することになりました。このために必要な会規約の改訂を行いました。また、学生会員を設けました。
新しい規約と表彰規定は、本号 p.218, 219をご覧ください。
- ◇ 第31回FIA講演会は、Separation Sciences '98と共催で東京都立大学で開催されます。本研究懇談会の世話役は山田正昭先生です。会員の多数のご参加をお願いいたします。
期 日 平成10年6月4日(木)、5日(金)
場 所 東京都立大学 (八王子市南大沢)
詳細は「ぶんせき」1997, 12号の p.114をご覧ください。
- ◇ 第9回フローインジェクション国際会議 (ICFIA IX) The International Conference on Flow Analysis (Flow Analysis IX) が、平成10年8月23～27日シアトル (ワシントン州) で開催されます。<お知らせ> 欄の p.220をご覧ください。
- ◇ 第30回FIA講演会は、石井幹太先生のお世話で、平成9年12月5日 (金) に明治大学駿河台校舎で開催されました。講演要旨集に若干残部があります。ご入用の方は早めに事務局までお申し込み下さい (会員 一部2,000円)。
- ◇ The International Conference on Flow Analysis (Flow Analysis VII) が、平成9年8月25～28日ブラジルで開催されました。G.D.Cristian教授をはじめ3件の報告書が寄せられました。p.181～197をお読み下さい。
- ◇ 本研究懇談会の公定法化分科会 (会長 河鳥拓治先生, 副会長 小熊幸一先生) では、本年度、3度目の” FIA計測法による窒素、リンのクロスチェック”を行います。会員の皆様のより一層のご協力をお願いいたします。
- ◇ 本誌の編集委員長が、第15巻から酒井忠雄先生に引き継がれることになりました。河鳥拓治先生には第12巻2号からお世話になりました。長い間ありがとうございました。
- ◇ 事務局のFAX番号のうち、化学科のFAX番号が086-251-7853に変わりました。

FIA研究懇談会 (JAFIA) 事務局

大島光子

1. 会誌は年2回（6月15日，12月15日）発行される。
2. 著者のうち少なくとも1名は日本分析化学会会員またはフローインジェクション分析研究懇談会会員でなければならない。ただし，編集委員会が認めた場合はこの限りではない。
3. 投稿原稿は，下記のものとする。
 - (1) 研究論文 未発表のオリジナルな研究報告とし，図表を含め15ページ程度以内とする。
 - (2) 技術論文 フローインジェクション分析法の技術に関する未発表の報告で，15ページ程度以内とする。別に以下の項を設ける。
 - (3) 総説 あるテーマに関する過去の公表論文の内容をとりまとめたもの。
 - (4) トピックス 最新の他の研究者の論文紹介。図表を含め1~2ページ程度とする。
 - (5) 海外レポート 海外でのFLIAに関する学会，大学訪問等のレポート。図表を含め1~2ページ程度とする。
 - (6) Q&A FLIAに関するあらゆる質問。匿名可。半ページ程度とする。
4. 投稿原稿には，論文の種類（総説，研究論文，技術論文，トピックス，海外レポート，Q&A）を明記する。
5. 投稿原稿は日本語又は英語で書き，正1部，副1部を提出し，その形式は「投稿の手引き」に従うものとする。これに反する場合は原則として受け付けない。
6. 原稿は編集委員長（下記）宛に送付する。編集委員長到着日を受付日とする。
7. 原稿の採否は編集委員会が決定する。原稿の修正などのため返却された場合は，修正の上，指定された日までに返送すること。
8. 掲載論文の著作権は本研究懇談会に属する。

原稿送付先：〒470-0356

豊田市八草町八千草 1427
愛知工業大学応用化学科
編集委員長 酒井 忠雄
電話：0565-48-8121；FAX：0565-48-0076

1. 投稿に当たっての注意事項

- (1) 投稿料は申し受けないが、別刷は50部10,000円、100部15,000円とする。
別刷希望者は投稿時に申し込むこと。
- (2) 投稿原稿は正1部、副1部を提出し、編集委員長宛に送付する。
- (3) 会誌は年2回（1号：6月15日、2号：12月15日）発行され、それぞれの投稿原稿締切日は、3月31日（1号）、9月30日（2号）とする。

2. 原稿執筆の手引き

- (1) ワードプロセッサを用いて作成し、A4判用紙（横21cm、縦29.5cm）に、17cmx23cm（38字x38行程度）の範囲内に印字する。当方にてB5判に縮小してオフセット印刷するので、小さすぎるポイントの文字は使用しないこと。
- (2) 投稿原稿の構成
投稿カード、論文からなる。

(i) 投稿カード

各巻、No.2に掲載のものをコピーして使用する。

(ii) 論文

最初のページの形式は以下のようなものであるが、書式については、本誌に掲載の論文を参照のこと。

表題：本文の文字より大きい文字とする。

氏名、所属、所在地：

英文題目：

英文氏名、所属、所在地：

英文要旨：5～15行

本文：表、図は適当な場所へ差し込む。

表、図の説明は英文とする。

文献：「分析化学」の形式に準ずる。

Notice to Foreign Authors of Papers

Journal of Flow Injection Analysis, which is published twice a year (June and December) by the Japanese Association for Flow Injection Analysis, provides a forum for the publication of Foreword & Message for FIA, Reviews, Research Articles, Topics, Technical Articles, Questions & Answers related to FIA, Reports from Foreign Countries, FIA Titles from Meetings, FIA Bibliography, and Announcements.

I) Submission Rules

Foreword and/or Message, Reviews are normally initiated through the invitation extended by the Editors. Contributed manuscripts, however, can be considered for the publication.

The following categories of papers are open to submission: Research Articles (less than 14 pages; reviewed by two referees), Topics (1 - 2 pages), Technical Articles (1 - 4 pages) and Questions & Answers (1/2 pages).

There is no page charge for any category of published papers. Fifty reprints will be submitted free of charge.

The copyrights of papers published in *Journal of Flow Injection Analysis* belong to the Japanese Association for Flow Injection Analysis.

Manuscripts should be submitted to:

Editor-in-Chief : Professor Tadao Sakai

Department of Applied Chemistry, School of Engineering,

Aichi Institute of Technology,

Toyota 470-0356 JAPAN

FAX: 81-565-48-0076

II) Instruction for Authors

Contributions may deal with any aspects of flow injection analysis. Papers in English and in Japanese are published. The original paper should be typed, according to the instructions below. Manuscript should begin with (a) the title of the article, (b) the names of the authors, (c) the organizations, (d) the organization addresses, and (e) the abstract.

We need "camera-ready copy", and the manuscript should be typewritten on white bond paper and the lines 1.5 or double-spaced.

The title should be all in capital letters and centered. After one-line space, names of the authors are typed, followed by the address(es) of the author(s): the names and the address(es) are centered and typed with a capital for the first letter of each main word. The author to whom correspondence is to be addressed should be indicated by an asterisk. After two-line spaces the abstract should be typed (5 - 15 lines). The text should begin two lines spaces below.

The typing area of the pages is 17cm wide and 23cm deep. The typing area of all pages is the same.

Figures and tables should be included in the text. The caption must be clearly distinguishable from the text.

Manuscript should be confirmed in layout and style.

Please submit the original and a copy.

17 cm

題 名

著 者 名

著者所属・所在地

英文題名

英文著者名

英文所属・所在地

英文要旨 (5 ~ 15 行)

本 文

23 cm

